

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年 7月 22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2873300368		
法人名	社会福祉法人 明照会		
事業所名	グループホーム 菩提樹の家		
所在地	兵庫県伊丹市中野西1丁目18番地 (電話) 072-785-0109		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2008年3月11日	評価確定日	2008年7月22日

【情報提供票より】(2008年2月29日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 10年 10月 18日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 3人, 非常勤 5人, 常勤換算 8人	

## (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て一部鉄筋造り	
	1 階建ての	1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	86,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(250,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,480 円

## (4) 利用者の概要(2月 19日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	7名	要介護2	1名
要介護3	1名	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 85.6 歳	最低 77 歳	最高 95 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	明照会診療所	市立伊丹病院
---------	--------	--------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりにとって、すべての利用者は家族であり、家族としてあたりまえに接し、ともに支えあって安心できる生活の実現を目指している。職員と利用者の信頼関係をベースに、利用者の心配ごとや不安を取り除き、個々の家庭のように落ち着いて生活できる環境整備に努めている。認知症特有の心身の低下が進んでも、やすらかな最後を迎えられるホームづくりに努められることを期待したい。</li> </ul>
--

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回評価では、特に改善課題はあげられなかったが、職員間の意識の共有や再度見直す機会となった。</li> </ul>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務に追われている中、あらためて振り返ることで、出来ること、出来ないことの再確認の機会となった。具体的な反省点も見え、気づきも得ることができた。</li> </ul>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施されていない。早急に準備を進めていただきたい。</li> </ul>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者は定期的相談日を設けているが、苦情は少ない。家族来訪時には、必ず時間を取りこちらから引き出すよう努めているが、十分とはいえない。家族会など家族同士の交流の機会をとらえ、意見を引き出す工夫が望まれる。</li> </ul>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人として老人会に所属している。地域の清掃や行事には出来るだけ参加している。市の作品展出品は恒例となっており、毎回手作り作品の出品を励みにしている利用者もいる。子どもたちとの触れ合いも楽しみの一つとなっている。</li> </ul>

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・「利用者の心配や不安を取り除き、痛みや苦しみを和らげる」という主旨の法人理念を掲げている。ホーム独自の具体的な地域密着の理念はまだ無い。		・地域との関りを大事にしていこうとする姿勢がうかがわれる。ホームが目指す地域密着の理念の具体化を望みたい。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・職員自らが利用者一人ひとりを自分の家族と同じように、或いは家族だったらあたりまえのこととして接することを、常に全職員が忘れないよう注意を促してしる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・法人として老人会に所属し、ホーム近くの土手の掃除などに参加したり、近隣の幼稚園や中高校生との来訪交流、市のシルバークフェスティバルの作品展に参加したりしている。地域民生委員から各種行事の案内を受けることもある。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・日々の業務の振り返りと見直しの機会となった。自己評価の項目ごとに、文章に表すことの難しさを実感するとともに、具体的に出来ていることの有無の再確認ができた。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・実施されていない。</p>		<p>・市担当者に働きかけ、早急に実施に向けて準備にとりかかる必要がある。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・必要な事務手続き及び連絡に限られている。</p>		<p>・ホームからこまめに出向いて連携を強化する努力を期待したい。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・行事案内とともに、利用者の日常の様子や、金銭管理等の報告を毎月行っている。職員の移動など内部の状況報告もしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・日曜日を家族面談日とし、個別に時間をとり意見などを聞くようにしている。月2回、介護相談員より利用者からの要望などを聞いてもらっている。現状は苦情は少ない。</p>		<p>・家族からの苦情は出にくいのが一般的だが、家族会など家族同士の交流の機会を利用して、意見を出してもらおう工夫が望まれる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・ホーム内での移動はほとんどない。法人内での移動があった後でも接触をかかさないように努め、馴染みの関係を保つようにしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・内部研修は、接遇や個別ケア、記録の記入の仕方等テーマを決めて、定例会議時に実施している。外部研修は、交通費を補助して積極的に参加を勧めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・他の事業所で行われた認知症の勉強会に参加機会はあるが、グループホーム同士の交流にはいたっていない。</p>		<p>・例えば、認知症の勉強会を発展させた形で同業者との交流会に繋げるなど、他事業所へも働きかける積極的な姿勢が期待される。</p>
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・本人が納得できるように、家族と一緒に訪問してもらう機会をつくり、話し合うよう努めている。自宅と同じように生活でき、出来るだけ環境を変えないことを納得してもらいながら、安心して体験でき馴染んでもらうよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・利用者はどうしても遠慮があるため、気持ちの軽くなるような声かけに努めている。職員は逆に気遣ってもらったり、癒してもらうことも多い。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・日常の会話の動きに注意して、利用者一人ひとりの思いや、希望への対応に心がけている。本人が気が進まない時は、無理強いせず柔軟に対応している。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・利用者の個々に好きなことややりたいこと、出来ないことより出来ることを優先させた介護計画になるように心がけている。個々の行動に結びつける工夫をしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・食事の準備や後片付け等を通して、個別の状態の変化をみたり、随時全職員で話し合い健康状態に注意して見直しをしている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・医療連携体制を取り、緊急時や普段も気楽に相談でき、安心できる支援がなされている。法人施設の音楽療法やカラオケクラブに利用者が参加している。地域からの見学や福祉専攻の実習生も受け入れる等事業所の多機能性を活かした取り組みがなされている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・法人施設併設の診療所がほとんどの利用者の主治医となっている。これまでのかかりつけ医の受診を希望する場合は、家族が同行し受診する。家族が都合悪い時や緊急時は職員が同行する。皮膚科、歯科の定期往診もあり、適切な医療が受けられる体制が整えられている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・車椅子対応、認知症の行動障害、医療行為の必要等が生じると、法人の特養に移ることを入居時や状況変化に応じ、本人、家族に説明している。</p>		<p>・医療連携加算や併設の診療所の機能を活かして、重度化の場合も本人や家族の意向に柔軟に対応することを期待したい。</p>
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・職員入職時に個人情報の守秘義務について書面で契約し、利用者の写真掲載は家族の承諾を得ている。羞恥心に配慮した声かけをし、トイレ誘導や入浴介助を行っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・散歩、買い物、入浴等は決まった時間内で対応している。朝食は利用者の起床時間にあわせて柔軟に対応している。</p>		<p>・利用者一人ひとりのペースをより尊重して事業所のスケジュールを合わず工夫を望みたい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・併設の厨房から副食が届く。ご飯と汁物はホームで作っている。盛り付けを利用者と一緒にしたり、週1回ホームで調理したり、利用者が食事作りに関われるよう配慮している。</p>		<p>・買い物から調理、後片付けまでの一連の流れは週1回しか行っていない。利用者にもできることも多くあるので副食作りへの取り組み等を望みたい。</p>
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・日曜日以外毎日入浴できる。時間帯は決まっていて、夜間は職員の対応が難しい。入浴時間はできるだけ意向に添うよう支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・併設デイサービスで利用する洗濯物たたみや、リネン交換、居室の掃除等一人ひとりに役割を持ってもらっている。季節ごとに家族と一緒に遠出して、楽しみを増やしている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・毎日散歩等外出の機会を作っている。一人ひとりの希望に合わせるのは難しいが、職員の仕事に同行してもらおう等気分転換が図れるようにしている。</p>		<p>・個々の外出希望に対応する工夫を望みたい。</p>
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・利用者が外に出るのが見えにくいので、午前中は鍵をかけている。午後から夕方までは施錠していない。</p>		<p>・午前中の施錠についても職員の連携で工夫できないか。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・避難訓練を年1回行っている。火災時のマニュアルを作成し、法人施設にも応援が求められるようにしている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事量の少ない人には個人ごとに摂取量を記録している。水分摂取は1500mlを目安にし、ふたつきコップにお茶を入れ居室に置き、いつでも飲めるよう配慮している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・窓越しに中庭が見え、季節の花や野菜の成長が楽しめる。台所は対面式で、職員の動きがよくわかる。畳敷きのスペースがあり、冬場はコタツを置いている。光や音にもカーテンを引いたり、食事の時間はテレビを消して心地よい空間作りの工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・中庭をはさんで全室南向きの居室で、自室から中庭へ出られるようになっている。室内にトイレ、洗面スペースがあり、馴染みの品も持ち込まれ、落ち着いて過ごせる場になっている。</p>		

 は、重点項目。